

産業廃棄物処理計画実施状況報告書の記入要領

(※特別管理産業廃棄物処理計画実施状況報告書も準じて作成してください)

項目	説明
(第1面)	
提出者について	産業廃棄物処理計画実施状況報告書の提出者は、多量排出事業者が法人の場合は法人の代表者です。ただし、処理計画実施状況報告書の作成単位である支店等の代表者で提出することもできます。
提出者の住所	提出者の住所を都道府県名から記入してください。個人事業者の場合も考え方は同様です。
提出者の氏名	個人の場合は個人の氏名を記入してください。屋号がある場合には屋号も記入してください。法人の場合は法人名、支店等の名称、代表者の氏名を記入してください。(代表者印、会社印等の押印はしないでください。)
提出者の電話番号	上記提出者の電話番号を記入してください。
事業場の名称 (行政庁管轄内事業場)	「事業場」とは建設業においては「作業所(現場)」が該当します。但し、処理計画等の作成は「作業所(現場)」を総括的に管理している支店や営業所のような「支店等」を単位とします。 (注)「作業所(現場)」と「支店等」とが異なる行政庁の所管区域内に位置する場合は、「作業所(現場)」が位置する各行政庁の所管区域の事業場になります。
事業場の所在地	上記事業場の所在地を記入してください。
事業の種類	日本標準産業分類の「大分類D-建設業」に該当する中分類コード及び事業区分(06 総合工事業、07 職別工事業、08 設備工事業)を選択し、記入してください。
産業廃棄物処理計画における計画期間	前年度に提出した産業廃棄物処理計画書に記入した計画期間を記入してください。
産業廃棄物処理計画における目標値	項目ごとに、前年度に提出した産業廃棄物処理計画書に記入した目標値を記入してください。
(第2面)	
(第2面)の入力について	「集計用シート」に入力すると自動的に第2面の該当部分に数値が入るように様式の電子ファイルを設定していますので、基本的には直接入力不要ですが、うまく数値が入らない等の不具合がある場合については、直接入力してください。
①排出量	当該事業場において生じた産業廃棄物の量
②自ら直接再生利用した量	①の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量	①の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
④自ら中間処理した量	①の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
⑤④のうち熱回収を行った量	④の量のうち、熱回収を行った量
⑥自ら中間処理した後の残さ量	自ら中間処理をした後の量
⑦自ら中間処理により減量した量	④の量から⑥の量を差し引いた量
⑧自ら中間処理した後再生利用した量	⑥の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量	⑥の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託	中間処理及び最終処分を委託した量

項目	説明
⑪優良認定処理業者への処理委託量	⑩の量のうち、優良認定処理業者（法施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
⑫再生利用業者への処理委託量	⑩の量のうち、処理業者への再生利用委託量 なお、再生利用委託量とは、以下の業者に委託した量をいいます。 ・「登録廃棄物再生事業者」（法第20条の2） ・「産業廃棄物再生利用大臣認定」再生利用認定業者（法第15条の4の2） ・上記に該当しないが、事業者が委託した産業廃棄物を再生処理していることが確実な再生事業者
⑬熱回収認定業者への処理委託量	⑩の量のうち、認定熱回収施設設置者（法第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	⑩の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
②+⑧自ら再生利用を行った量	②の量と⑧の量を合計したもの
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	③の量と⑨の量を合計したもの
(集計用シート)	
集計用シートの取扱について	第2面の入力を補助するとともに、根拠資料となるものです。法に基づく様式ではないため、多量排出事業者にかかる公表制度の対象外としていますが、提出のご協力をお願いします。
提出者の住所、名称、担当部署等について	提出内容について、確認のご連絡をさせていただくことがありますので、記入をお願いします。
産業廃棄物の種類について	参考資料3「建設工事等から発生する主な建設廃棄物」のコード、種類に基づき、該当する種類に関する計画の実施状況を記入してください。該当しない種類については、空欄で結構です。
①～⑭の項目について	上記（第2面）をご参照ください。
⑮その他の中間処理委託量	⑩の量のうち、委託して破砕等の中間処理した量（⑫～⑭を除く）
⑯埋立処分委託量	⑩の量のうち、直接委託して埋立て最終処分した量
②+⑧自ら再生利用を行った量	②の量と⑧の量を合計したもの(上記のデータから自動計算されます)
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	③の量と⑨の量を合計したもの(上記のデータから自動計算されます)
(その他留意事項)	
個人情報の記入について	実施状況報告書は、公表制度（公衆への縦覧（インターネットによる公表））の対象となるため、代表者印、社員の個人名等、個人情報に該当する内容については、記入しないようにしてください。

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

年 月 日

大阪府知事 殿

提出者

住 所 ○○府○○市○○町○丁目○番○号

氏 名 霞ヶ関建設株式会社

代表取締役 東京太郎

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 ○○-○○○○-○○○○

産業廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、○○年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	霞ヶ関建設株式会社 ○○支店
事業場の所在地	□□市□□町□□丁目□番□号
事業の種類	06 総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	○○年○○月○○日～○○年○○月○○日

産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	○○○○t	全処理委託量	○○○○t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	○○○t	優良認定処理業者への処理委託量	○○○t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	再生利用業者への処理委託量	○○○○t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	○○○t	認定熱回収業者への処理委託量	t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t

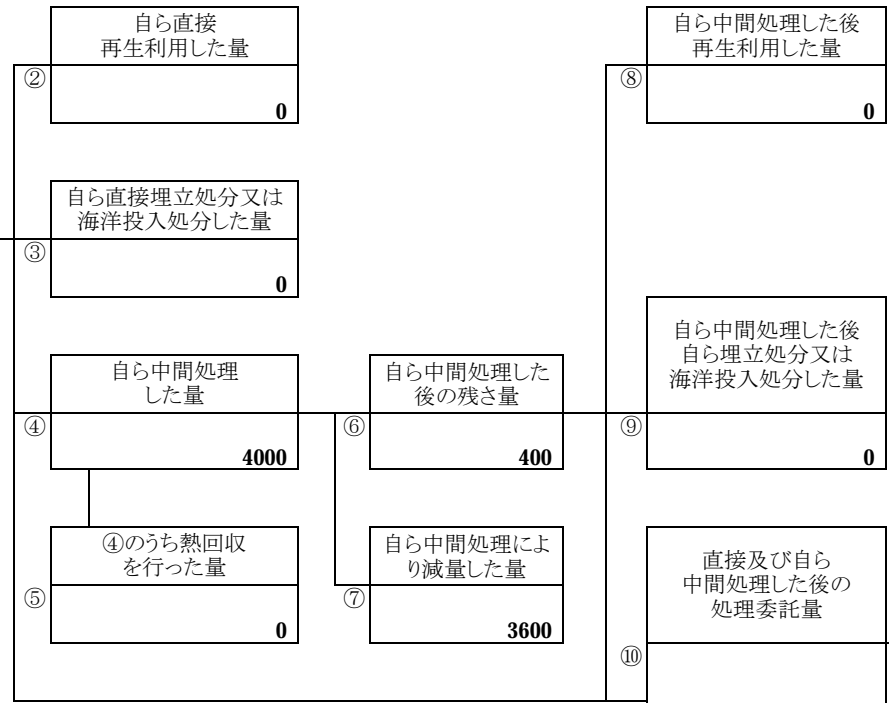
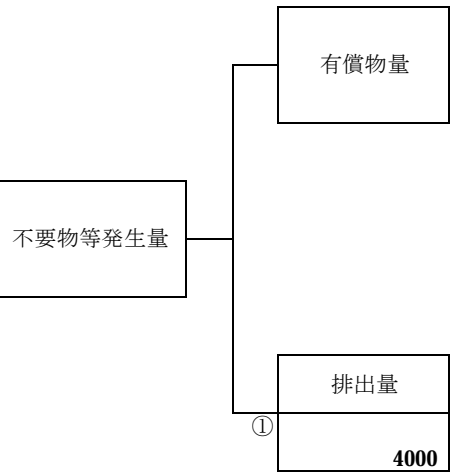
※事務処理欄

(日本産業規格 A列4番)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 汚泥)

記入例

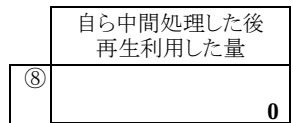
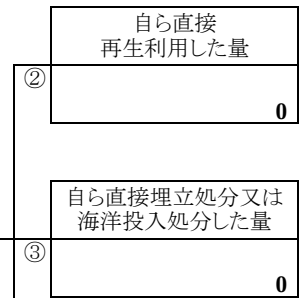
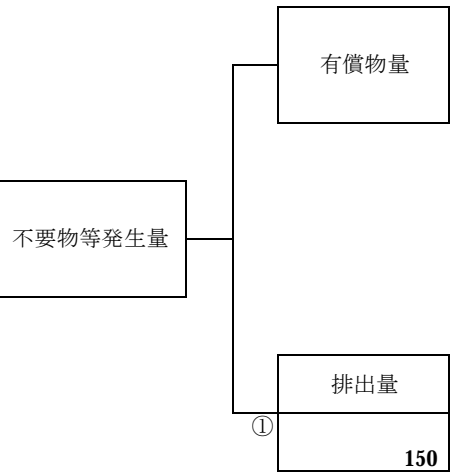


項目	実績値
①排出量	4000
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	3600
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	400
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用者への処理委託量	400
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

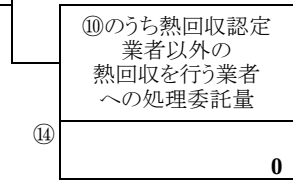
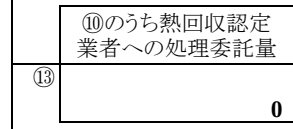
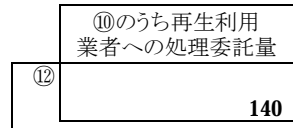
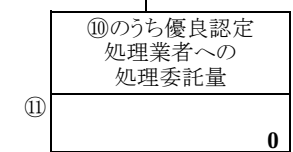
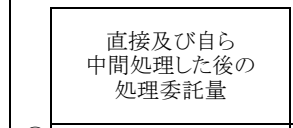
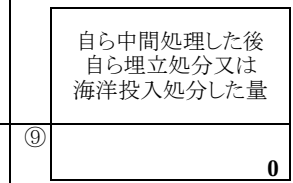
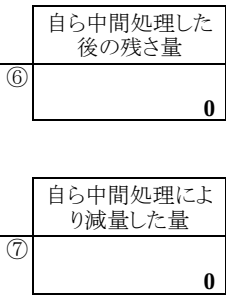
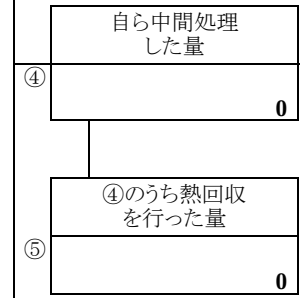
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 木くず)

記入例



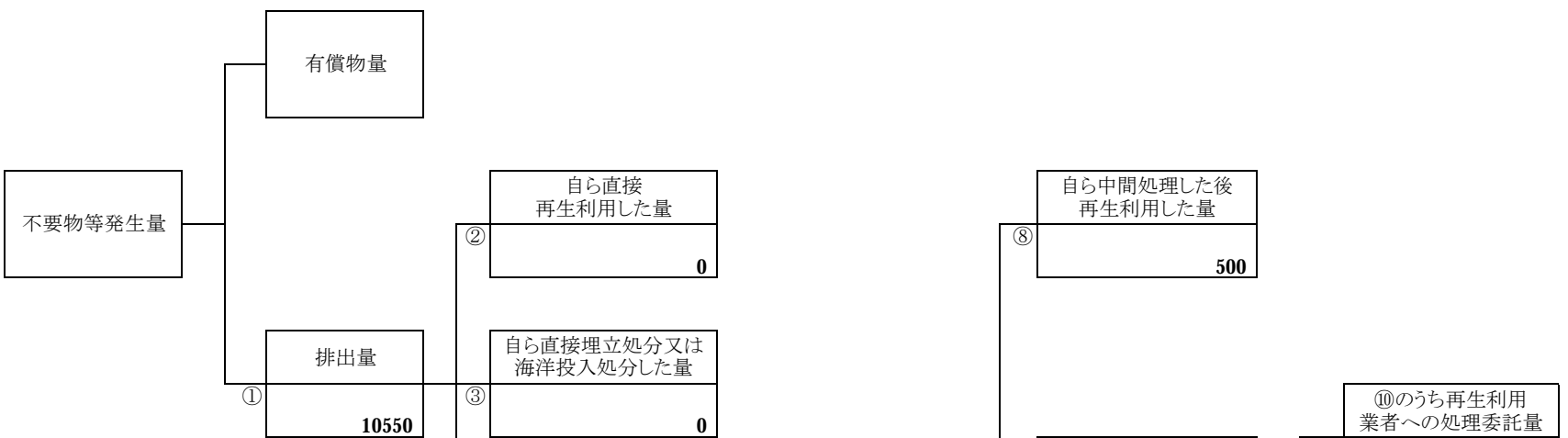
項目	実績値
①排出量	150
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	150
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理委託量	140
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: がれき類)

記入例



項目	実績値
①排出量	10550
②+⑧自ら再生利用を行った量	500
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	10050
⑪優良認定処理業者への処理委託量	3000
⑫再生利用業者への処理委託量	9500
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄には、何も記入しないこと。

産業廃棄物処理計画実施状況報告書の〔集計用シート〕

記載例

標 出 者						
住 所	名 称	担当部署	担当者名	電話番号	FAX	電子メールアドレス
各行政の所管区域内の作業所(現場)を総括的に管理する支店等の住所	各行政の所管区域内の作業所(現場)を総括的に管理する支店等の名称	報告担当部署の名称	報告担当者の氏名	報告担当部署の電話番号	報告担当部署のFAX番号	報告担当部署の電子メールアドレス
〇〇市〇〇町〇〇丁目〇〇番〇号	〇〇〇〇株式会社 〇〇支店	環境安全〇〇部 △△グループ	〇〇 〇〇	(〇〇)〇〇〇〇-〇〇〇〇	(〇〇)〇〇〇〇-〇〇〇〇	〇〇〇〇@〇〇〇〇.〇〇〇〇.jp

建設業の備考

産業廃棄物の種類	計 画 の 実 施 状 況																	
	①排出量	②自ら直接再生利用した量	③自己直接埋立処分又は海洋投	④自ら中間処理した量	⑤ ④のうち熱回収を行った量	⑥自ら中間処理した後の残量	⑦自ら中間処理により減量した量	⑧自ら中間処理した後再生利用した量	⑨自ら中間処理した後埋立処分又は海洋投入処分した量	⑩直接及び自ら自己処理した後の処理委託量	(⑪=①-②-③-④+⑥-⑧-⑨-⑩+⑬+⑭+⑮+⑯)				⑳+㉑	㉒+㉓		
	(t)	(t)	入処分した量(t)	(t)	(t)	(t)	(t)	(t)	(t)	(t)	委託先による区分				①優良認定処理業者への処理委託量(t)	②自ら再生利用を行った量(t)	③の量と④の量を合計したもの(自動計算)	
コード	名 称										⑪再生利用業者への処理委託量(t)	⑫熱回収認定業者以外の熱回収業者への処理委託量(t)	⑬その他の中間処理委託量(t)	⑭埋立処分委託量(t)				
100	燃え殻																0	0
200	汚泥	4,000			4,000		400	3,600		400	400						0	0
300	廃油																0	0
400	廃酸																0	0
500	廃アルカリ																0	0
	廃プラスチック類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	600 廃プラスチック類																0	0
	2430 廃プラスチック類(石綿含有)																0	0
700	紙くず																0	0
800	木くず	150								150	140		10				0	0
900	繊維くず																0	0
1200	金属くず																0	0
	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	1300 ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず																0	0
	1322 廃石膏ボード																0	0
	2420 ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず(石綿含有)																0	0
	がれき類	10,550	0	0	500	0	500	0	500	10,050	9,500	0	0	400	150	3,000	500	0
	1500 その他のがれき類	400								400				400			0	0
	1501 コンクリート塊	5,000			500		500		500	4,500	4,500					2,000	500	0
	1502 アスファルト・コンクリート塊	5,000								5,000	5,000					1,000	0	0
	2440 がれき類(石綿含有)	150								150					150		0	0
	建設系混合廃棄物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2010 建設系混合廃棄物(安定型)																0	0
	2020 建設系混合廃棄物(管理型)																0	0
	2410 建設系混合廃棄物(石綿含有)																0	0
	合計	14,700	0	0	4,500	0	900	3,600	500	10,600	10,040	0	0	410	150	3,000	500	0

(注1)トン未満は原則として四捨五入。ただし、数字が有効であれば小数点以下3桁まで記載は可。
 (注2)上記の産業廃棄物の種類以外の排出廃棄物があった場合は、必要に応じ、直種追加入力するとともに、第2面も追加してください。